

2024
WINTER
MINSAI
CENTER



vol.

95

ダ ル ニ ー

通信

特集

変わってはいけないもの
これからを生きる子どもたちへの支援



2p. 松田事務局長就任挨拶

6p. 女子寮クラウドファンディング達成

3p. 奨学金証書お届けの裏側

7p. 長年の支援者様紹介

4p. 7年間の支援に感謝～ベトナム元奨学生より～

8p. 事務局掲示板+編集後記

5p. タイの高校卒業生から感謝のメッセージ

事務局長就任挨拶

松田 篤



この度、令和6年10月理事会において常勤理事兼事務局長という大役を拝命致しました松田篤と申します。民際センターで4年間、理事を務めさせて頂きましたが、現場を勤めさせて頂くことは初めてでございます。児玉理事長をはじめ、職員が民際センターの活動を盛り上げてくれています。その功績に感謝申し上げますとともに、職員の力が最大限発揮できるよう、大所高所、時に枝葉末節、サポートさせて頂こうと決心を新たにしているところでございます。

事務局長という職は、民際センターにとって中枢の職位でございます。支援者様の思いを実現すること、理事長の方針を計画し成果を出すこと、理事、評議員の方々の意見を反映し実践すること、海外事務局と連携し効果を最大化すること、民際センター職員の力を最大限引き出すこと、etc. そして一番は、子ども達の将来をより良い未来に変えるよう力を尽くすことです。

私自身、民際センターに求められる人材か、日々試されていることを心に留め、皆様に承認される人であり続けるよう日々研鑽し、10年、20年先の未来を見据え、社会に貢献していく所存です。

私は、常々「ありがとう」を大切にしております。対義語は、「当たり前」です。何気ない事かもしれませんが、当たり前にならないよう、日々感謝しつつ、職務を全う致します。

皆様、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

～皆様に奨学金証書が届くまで～

奨学金支援者の皆様に年に1回お届けしている奨学金証書。この1対1の支援の証とも言える証書を発行するために、様々な工程と各国のスタッフたちが関わっています。今回はその裏側をご紹介します。今回はその裏側をご紹介します。

【ダルニー奨学金締切日】

進級進学の数学期により、2つの締切日を設けています。

- ① 7月20日 ラオス・カンボジア・ベトナム
- ② 3月20日 タイ・ミャンマー

今回は、特に①の7月20日締切の3カ国の証書に焦点を当ててご紹介します。

【奨学金数の報告(日本から各国へ)】

8月末 日本のICTから3カ国のICTへ奨学金数の報告。

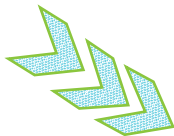


【生徒情報収集・写真撮影】

現地のスタッフが、奨学金数分の生徒を選考。教育委員会、学校の先生や村長さんの意見も聞き本当に貧しい生徒を優先して選んでいます。生徒の基本情報を集め、写真撮影を行います。

【在籍確認・マッチング(支援者と奨学生を繋ぐ工程)】

各国のスタッフが、進級進学時期(ラオス・ベトナム:9月ラオス・カンボジア:11月)後に選考された生徒たちがしっかり学校に通ってきているか確認も行い、支援者と奨学生のマッチングを完了。ベトナムのマッチングはタイが代行。



【証書作成】

ラオス・カンボジア:各国で証書データ作成。
ベトナム:タイが代行。

【支援者様への送付】

ラオス:奨学金証書・写真のみラオスのスタッフが封入し日本へ発送。日本でその他の印刷物(支援状況表・郵便払込票・ダルニー通信等)を封入・発送。
カンボジア:全てカンボジアから発送。
ベトナム:奨学金証書データがタイから日本に届き、日本から全て発送。



このような工程を経て、1対1の支援が成り立っています。それぞれの国の事情にもより様々なパターンがあり、統一して行えない作業となっておりますが、よりシンプルに、証書の内容等においてもより充実させていければと思っております。各国の郵便事情などにもより、発送時期の遅れがたびたび発生し迷惑をおかけして申し訳ございませんが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。よりよき形を模索してまいります。

7年間の支援に感謝 ～ベトナム元奨学生より～



動画はこちらから↓



ベトナムタイビン省在住のホアンくんからビデオレターが届きました。両親が離婚し、父親が入院しているため、祖母と姉と3人で生活しています。幸運にも日本の支援者S様より7年間(中学4年間・高校3年間)の奨学金のご支援をいただいたお陰で、今年無事に高校を卒業しました。ベトナムで、ダルニー奨学金とHOPE奨学金によって卒業を迎えた記念すべき初めての生徒です。

ホアンくんの支援者S様よりコメント

ご連絡ありがとうございます。嬉しい思いで拝見させていただきました♪あなたは私に元気と刺激をくれました。ありがとう！この御縁を結んでくださった民際センターの方々に感謝します。人生の障害になっていると感じている困難の多くは結果的に私たちを強くしてくれていると思います。弱みだと思っていたものは、実は大きな強みだったりもするのです。世の中というのは不安定なことばかりで、突然思いがけないことが起こります。けれど不安定であることこそが素晴らしいことであり、おもしろいのです。それを悠然と受入れる心境であったり心構えであれば、またいろいろなものが見えてきたりもします。老境にある私が思い至るところです。これからのホアンくんの未来に幸あらんことをお祈りいたします。ありがとうございました、皆様に感謝いたします♪

ホアンくんとS様のやり取りに携わったインターン生Fさんからのコメント

ホアンくんからのビデオメッセージの翻訳と字幕入れをさせていただきました。奨学生の実際の声を支援者に届けることができる大変貴重な経験でした。1人の子どもに7年間継続して支援をし、卒業を見届けることができるということは民際センターだからこそできることだと改めて感じました。また、S様からこうしてお返事をいただくことができ、実際に“民と民”をつないでいるということ、その教育支援の一助となっていることを実感することができて大変嬉しかったです。ホアンくんとS様を繋ぐお手伝いをさせていただきありがとうございました。

タイの高校卒業生から感謝のメッセージ

皆様からのご支援により、多くの生徒たちが進学・進級の機会を得て、中途退学の危機を免れています。2023年度の支援をもって高校を卒業した3人の元奨学生から、メッセージが届きましたのでご紹介します。

アピシットくん



僕はこの奨学金を学用品や寮費に充て、家計の負担を大幅に減らすことができました。高校に通うことができ、大学への道も開かれているので、とてもうれしいです。僕は祖母と2人暮らしです。もし奨学金をいただいでいなければ、生活するだけで精一杯で、勉強を続けられなかったかもしれません。

現在は、国立大学のマハーサーラカム大学のコンピュータサイエンス学部の1年生になっています。

マーリニーさん



奨学金のおかげで、家族は私の学費を心配せずに家計の負担を減らすことができました。卒業後、教職の勉強をするつもりです。教育の機会に恵まれないことが多い僻地の子どもたちに勉強を教えたいからです。私が助けられたように、今度は彼らにも夢を追いかける機会を与え支える人になりたいです。中学、高校と6年間も教育の機会を与えてくださった支援者様にお礼を申し上げます。人々を支えるには、まず先に自分のやりたいことを実現することが大切だとその方から大きな励ましをいただきました。

現在は、国立大学のラーチャパット・ウボンラーチャターニー大学の教育学部の1年生として学び、学校教員を目指しています。

ナッティダーさん



奨学金により、私の学校生活は以前より良くなりました。安心して高校3年生まで勉強を続けることができました。奨学金は、学用品や制服、靴を買うために使いました。それにより家族の負担は軽くなり、家族もとても喜んでます。支援者の方からは、教育の大切さを教わりました。私の学校での毎日を幸せなものにしてくださり、ありがとうございました。

現在は働きつつ貯金し、来年、国立大学のラーチャパット・トンブリー大学の教育学部に進学予定です。

HOPE奨学金(高校生支援)についてはこちらから <https://www.minsai.org/HOPE/>

【カンボジア女子寮建設】クラウドファンディング目標額を達成!

2021年6月にスタートした民際センター独自のクラウドファンディング。その開始当初から続けてきたカンボジア女子寮建設プロジェクトが、2024年4月に目標額4,160,000円という大きなゴールをようやく達成することができました。途中、円安による価格改定もあり達成がますます難しく思われた時期もありましたが、これまで長らくお待ちくださった88名の支援者の皆様、そして応援してくださった皆様に、心より感謝申し上げます。

寮の建設地はコンポンスプー州にあるプノスローチ高等学校です。6月初旬の着工後、8月には写真のように建物の大枠ができあがってきました。ダルニー通信95号が皆様のもとへ届くころには完成を迎える予定です。



- ① 土台づくり (7月5日)
- ② 柱の形成後、砂の埋め戻し
- ③ 壁面のレンガ積み、窓枠の設置 (7月24日)
- ④ 壁面へのモルタル下塗り (8月3日)



カンボジア事業所長 チャンディから皆様へのメッセージ

中学・高校での「就学率の低迷」はカンボジアの教育問題となっていますが、原因のひとつは通学距離の遠さと、遠方通学者のための寮の欠如です。特に、男子のように（女人禁制である）寺院に下宿できない女子生徒たちにとって、女子寮建設は教育機会の提供と、貧しい生徒の中途退学防止につながります。寮は、何代にもわたって使い続けられる大切な遺産であると考えています。女子寮建設プロジェクトを通じて、カンボジアの発展をお手伝いいただけますようお願い申し上げます。

長年の支援者様のご紹介

F.Sさん（東京）

95歳の支援者様。コツコツと貯蓄してそれを子どもたちの教育へにご支援いただいております。ご自身の出費は抑え、少しでも子どもたちの教育のためにという心がいつも伝わってきます。今回はどのような想いでご支援なさっているかお話を伺いました。

民際センターを通して奨学金の支援を始めたきっかけは、平成3年、新聞でダルニー奨学金を知ったこと。1万円で1人の生徒が1年間学校に行けるならと3名分をすぐに申し込まれました。勉強したくても女性は学校に行かなくてもいいと親族に言われて進学できなかった悲しい歴史があり、今でもそれが悔しいとおっしゃるSさん。自分と同じような想いを子どもたちがしないようにという熱い想いから支援を続けておられます。65歳まで勤め上げ、その後海外旅行に目覚め、これまで93カ国を見て色々な文化や考え方に触れてこられました。ラオスでは念願だった小学校校舎の寄贈を行い開校式にも現地を訪れ、その後も手先が器用で手芸が得意なことを活かして、3,500枚以上の手作りのナップサックや手提げ袋をラオスの子どもたちのためにご寄付いただきました。材料費は高く時間もかかる作業でしたが、子どもたちのことを思うと苦にならなかったそうです。

教育は誰にも奪われない宝物

Sさんが大切にしている想いがあります。教育が一番大切です。先生の教えは尊い宝物です。子どもたちの頭の中に入った知識は人には取られない宝物です。ですので、自分が去った後、遺産を経済的に恵まれない、教育の機会に恵まれない東南アジアの子どもたちの教育費に使ってほしいと希望されています。

95歳になった今もご自身のことにはお金をかけずに、未来の子どもたちのために少しでも多くのお金を残したいと慎ましい生活をされているSさん。ただ節約家という訳ではなく、人のためにはしっかり使うように教育されてきたとご本人もおっしゃっていますが、価値あるものにお金を使うことは惜しまない方です。このような支援者様によって民際センターの活動は支えられて、そして子どもたちが学校に行くことができます。

民際センターでは、遺贈寄付を受け付けております。皆様の大切なご資産を子どもたちの未来のために使わせていただきます。ご興味のある方は民際センターまでお問い合わせください。

民際センターの遺贈寄付について: <https://www.minsai.org/donate-bequest/>

お問い合わせフォーム: <https://www.minsai.org/contact-izo/>

プロボノ募集中

プロボノを募集中です。アドビ・イラストレーターを用いて広報資料(チラシやパンフレット)をデザインして下さる方や、動画制作、動画編集ができる方を募集しています。また、現在特にライター(文章やキャッチコピーを考えて下さる方)も募集しています。ご興味のある方は、民際センターまでお問い合わせください。

SNSでも活動をご覧いただけます

民際センターではSNS (Facebook, X, Instagram) でも情報を発信しています。下記QRコードからご確認いただけます。ぜひフォローして情報を随時ご確認ください!



www.facebook.com/minsai.org



www.twitter.com/minsaiorg



www.instagram.com/edf_japan



「支援者の声」を募集しています

皆様の声を民際センターのホームページ「支援者の声(www.minsai.org/activity/voice)」やダルニー通信等でご紹介させていただきます。ご支援された経緯、奨学生とのエピソード等、文章、動画、何でも結構です。事務局までお寄せください。

民際センターを紹介してください

皆様のブログ、SNS、ホームページなどで民際センターを紹介してください。ロゴや写真、記事の提供などは、事務局へご依頼ください。

民際センターでは、活動を支える「民際サポートプログラム」を随時受け付けております。

このプログラムは、民際センターや各国事業所の事業活動全般の他、支援対象国の教育の現状調査、支援者様への報告やサービス利便性の向上、デジタル化に対応するICT投資等、その他事業計画や活動そのものを支えるために活用いたします。

詳しくはホームページをご参照ください
www.minsai.org/msupport/



クレジットカードによる自動引落はこちらから
マンスリーサポート(毎月定額のご支援)
www.minsai.org/donate-minsairyoku/



郵便振替でのご支援こちらから



ゆうちょ銀行 振替口座 00160-7-664928

編集 後記

日本でもこの夏、台風の影響を大きく受けましたが、9月に東南アジアのベトナム、ミャンマー、タイなどでも台風による水害が報告され、メコン地域を支援する民際センターとしても募金活動を行っております。時代は変わり現地の様子もLINEで写真が届き、その状況を知ることができ、それが募金活動に活かせるようになってきています。DX化とよく言われますが、民際センターでも支援者様と奨学生をもっと良い形で繋いでいくことができるように、様々な方の協力もいただきながら、デジタル技術も活用していきたいと思っています。

表紙の写真

カンボジアの生徒たち



▶「ダルニー」とは…民際センターが奨学金を募り1対1の教育支援を始めるきっかけとなったタイの女の子の名前。

このダルニー通信は2024年10月に編集されました。